

教 科	保健体育	科 目	保 健
履修条件 対象生徒	必履修 デザイン科 1 学年		
学習目標	個人及び社会生活における健康、安全に関する基本的事項について理解を深め、生涯を通じて自らの健康管理を考え、自ら進んで健康的な生活を実践する態度を身に付ける。		
学習方法	<p>[授業] 教科書「現代高等保健体育（大修館）」の内容を中心に授業を行う。加えて視聴覚機器の活用や調べ学習など生徒がより意欲的・主体的に学習できるように実践内容を工夫し、理解の定着を目指す。</p> <p>[家庭学習] 学んだ内容の復習をして疑問点を解決しておく。次時の発表準備をしておく。</p> <p>[補習・その他] 授業で利用したプリント類は各自でノートにファイルするなどして保管しておく。ノート・スクラップは授業担当者の指示で提出できるようにまとめておく。成績不振者には特別に課題を与える。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>&lt; 1 学期末考査まで &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康の考え方と成り立ち</li> <li>2 私たちの健康のすがた</li> <li>3 生活習慣病の予防と回復</li> <li>4 がんの原因と予防</li> <li>5 がんの治療と回復</li> <li>6 運動と健康</li> <li>7 食事と健康</li> <li>8 休養・睡眠と健康</li> <li>9 喫煙と健康</li> <li>10 飲酒と健康</li> <li>11 薬物乱用と健康</li> </ol> <p>&lt; 2 学期末考査まで &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12 精神疾患の特徴</li> <li>13 精神疾患の予防</li> <li>14 精神疾患からの回復</li> <li>15 現代の感染症</li> <li>16 感染症の予防</li> <li>17 性感染症・エイズとその予防</li> <li>18 健康に関する意思決定・行動選択</li> <li>19 健康に関する環境づくり</li> </ol> <p>&lt; 学年末考査まで &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事故の現状と発生要因</li> <li>2 安全な社会の形成</li> <li>3 交通における安全</li> <li>4 応急手当の意義とその基本</li> <li>5 日常的な応急手当</li> <li>6 心肺蘇生法</li> </ol>	<p>○健康の考え方の変化を学ぶ</p> <p>○健康の保持増進と疾病の予防について学ぶ。</p> <p>○精神の健康とその対処法について学ぶ。</p> <p>○感染症とその対処法について学ぶ。</p> <p>○交通安全について学ぶ</p> <p>○応急手当とその方法について学ぶ。</p>	
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的で計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	<p>○確認テストや考査、学習ノートの記入などを評価の対象とする。</p> <p>○授業での発表や取り組み（発言、グループ活動など）、課題やレポートへの取り組みなどを評価の対象とする。</p>		